

地震に備えるセミナーin 沖縄を開催

～ ご自身やご家族を守る！ 今、知っておきたい地震リスクと備え ～

一般社団法人 日本損害保険協会 沖縄損保会(会長：新崎 盛史・大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員)では、一般社団法人 沖縄県損害保険代理業協会と日本防災士会 沖縄県支部にご後援いただき、沖縄県における地震リスクの特徴や生活再建のための地域に合った備えを正しく理解していただくことを目的として、「地震に備えるセミナーin 沖縄」を開催しました。

開会に際し、当支部 柴田 文明 事務局長から、「自然災害の頻発化・激甚化が常態化し、気候変動の影響は深刻さを増している中、本セミナーを通じ、防災・減災について、また地震保険を含めた経済的な備えについて確認する機会としてほしい。」との挨拶がありました。

第一部では、琉球大学 理学部物質地球科学科 地球環境系 教授 中村 衛 氏から「地震と津波への備え」をテーマに講演がありました。「令和8年熊本地震」を参考に、もし沖縄県で地震による被害が発生すると、多くの住民が避難生活を余儀なくされ、生活・事業再建の長期化、加えて島嶼県であるがゆえ、海域地震では津波被害が想定され、港、空港の閉鎖等により物資が停滞、陸路からの支援、応援が受けられないとの指摘がありました。

第二部では那覇市消防局 総務課 企画広報係長兼副参事 源河 北斗 氏から「家庭でできる備え」をテーマに講演がありました。消防士、防災士としての熊本地震などに対応したご経験を踏まえて災害現場の写真や地図を用い、わかりやすく説明していただきました。最後に、柴田事務局長から「被災前と後ではお金の価値は違って来る。ご自身のリスクを理解し、正しく恐れることが必要。本日のセミナーの内容を踏まえ、地震保険の大切さを知ってもらいたい。」との話がありました。

講演会後のアンケートでは、「沖縄も地震リスクが高いことを改めて理解できた。」、「地震や津波が来た時には、備えとしては島嶼ということを考え、一般的な備蓄では足りないことがあることがわかった。」、「今まであたりまえのように行ってきた避難行動の『意味』を考える重要性を知った。」等の感想をいただきました。

沖縄損保会では、今後も行政や関係団体と連携し、自然災害リスクを的確に認識いただくとともに、地震保険を含めた防災・減災に関する知識の普及・啓発活動を行ってまいります。

■セミナー概要

開催日時 2026年9月14日(月) 14:00～16:00

開催場所 ロワジールホテル那覇 1階 あまいろ

講演内容 第1部 地震と津波への備え 琉球大学 理学部物質地球科学科 地球環境系 教授 中村 衛 氏
第2部 家庭でできる備え 那覇市消防局 総務課 企画広報係長兼副参事 源河 北斗 氏

主催 一般社団法人 日本損害保険協会 九州・沖縄支部 沖縄県損保会

後援 一般社団法人 沖縄県損害保険代理業協会、日本防災士会 沖縄県支部



中村氏による講演



源河氏による講演



会場内の様子